Volt 4 Gen 2

Volt 4 Gen 2 ハードウェアマニュアル



本記事には、Universal Audio Volt 4 Gen 2のハードウェアコントロールおよび接続に関する詳細な操作手順が記載されています。

はじめに
Volt クイックスタート
Voltの使用
Volt 4 ハードウェアの説明
Voltの工場出荷時設定へのリセット
Volt 4 Gen 2 仕様
注意事項

はじめに

Volt 4は、Tone Shapingプリアンプ、スマートディスプレイ、豊富な入力を備えた次世代のモバイルUSBオーディオインターフェイスです。直感的な操作で、音楽クリエイターにプロスタジオのサウンドを提供します。

伝説的なApolloインターフェイスを手掛けたチームによって開発されたVolt 4は、レコーディングを驚くほど簡単にします。Mac、Windows、iPad、iPhoneにおいて、わずか数分でセットアップを完了し、使い始めることができます。Auto-Gainを使用すれば、ボーカル、ギター、ステレオ楽器のレベルを完璧に設定できます。MIDIキーボードやドラムマシンを接続したり、ADAT経由でスタジオを拡張したりすることも可能です。

ミックスの際には、受賞歴のあるUADプラグインスイートとLUNA DAWを利用できます。

主な利点

- **Tone Shapingプリアンプ**：デモ音源の枠を超えた、レコードのように豊かなキャラクターを実現します。
- **フル32ビットオーディオ**：伝説的なUAの品質により、驚くほど精緻なディテールでパフォーマンスを聴き取ることができます。

- **拡張されたI/O。**ボーカルと楽器の同時録音、MIDI経由での楽器の接続、ADATによる入力の追加が可能です。
- **スマートディスプレイ。**明るい視覚的なフィードバックにより、チャンネル選択とレベル設定をすばやく行えます。
- **Auto-Gainとクリッププロテクション。**信号のピークによってテイクが台無しになる心配はもうありません。
- **モバイル対応。**USBバスパワー駆動によりどこでも録音可能で、外部電源は必要ありません。*
- **使いやすさ。**すばやく接続して、お気に入りの音楽アプリで録音できます。
- **プレミアムなUADソフトウェア。**プロが使用するのと同じEQ、コンプレッサー、シンセサイザー、ギターアンプに加え、数々の賞を受賞したLUNA DAWが付属します。

機能

- プロフェッショナルな32ビット／192 kHzオーディオコンバージョンを備えた、12イン／6アウトのUSBオーディオインターフェイス
- 60 dBのゲインと3つのキャラクターモード（Warmth、Focus、Shine）を備え、録音ソースにクラシックなアナログマイクプリアンプのサウンドをもたらす2基のTone Shapingプリアンプ
- 2系統のマイク／ライン入力、フロントパネルの2系統のHi-Zインストゥルメント入力、さらにアウトボード機器用の追加ラインI/O
- 最大8チャンネルのデジタル拡張が可能なADATまたはS/PDIFオプティカル入力
- コントローラー、キーボード、シンセサイザー用のMIDI入出力
- 周辺機器の接続や外部MIDIコントローラーへの電源供給が可能な内蔵USBハブ
- 入力、レベル、各種設定を明るく一目で視覚的に確認できる、フルカラーのスマートディスプレイ
- 常に完璧な録音レベルを実現するAuto-Gainとクリッププロテクション
- セッションのリコールや低レイテンシーのキューミックスなど、UAD ConsoleアプリおよびLUNA DAWとの完全な統合
- ポッドキャスト、ストリーミング、コンテンツ制作向けの内蔵ループバック機能
- チャンネルごとに独立した、コンデンサーマイク用の48Vファンタム電源
- Mac、Windows、iPad、iPhone*で簡単にセットアップできる、USBバスパワー駆動およびクラスコンプライアント対応
- 長年の使用に耐える、スタイリッシュで頑丈な構造

**Windowsシステムでは、UA Connectアプリから提供されるASIOドライバーを使用します。バスパワーの要件はモデルやデバイスによって異なります。Lightningデバイスには Apple Lightning - USBカメラアダプタが必要です。*

Volt クイックスタート

まずはじめに、Voltの登録、アップデート、バンドルソフトウェア、およびプラグインのインストールを管理するUniversal Audioのアプリ「UA Connect」をインストールしてください。Voltを初めて接続する際、UA Connectに用意されているオンボーディングチュートリアルが新しいハードウェアのセットアップをサポートします。手動でセットアップを始める場合は、本セクションの指示とリファレンスに従ってください。

Voltのドキュメントについて

- ハードウェアのセットアップおよび操作手順については、本マニュアルを参照してください。
- ソフトウェアの設定および操作手順については、「UAD Consoleマニュアル」を参照してください。
- UA ConnectでVoltを登録し、付属ソフトウェアを入手するには、「How to set up your Volt Interface」を参照してください。

システム要件

Voltのシステム要件については、こちらをご覧ください。

はじめに

セットアップを始めるには、以下の手順に従ってください。

ハードウェアのインストール

1. Voltを平らな場所に置きます。
2. VoltのHOSTポートをコンピューターのUSB 2.0以上のポートに接続します。VoltにはUSB-C to USB-Cケーブルが付属しています。

ソフトウェアのインストール

1. uaudio.com/volt/start からUA Connectアプリをダウンロードしてインストールします。
2. UA Connectを起動し、アプリ内の指示に従ってVoltハードウェアの登録とセットアップを行います。
3. ファームウェアのアップデートがある場合は、インストールします。
4. UA ConnectからUAD Consoleアプリをダウンロードしてインストールします。

注意：Windowsシステムで最適なパフォーマンスを得るには、UA Connect経由でVoltドライバーをインストールしてください。MacおよびiOS/iPadではドライバーは必要ありません。

Voltの使用方法

Voltの各機能の使い方については、本セクションの概要に従ってください。詳細については、「ハードウェアの説明」セクションに記載されています。

Voltの接続

モニタースピーカー、ヘッドフォン、および各入力をVoltに接続します。詳細については、「Voltの接続について」を参照してください。

コントロールの概要

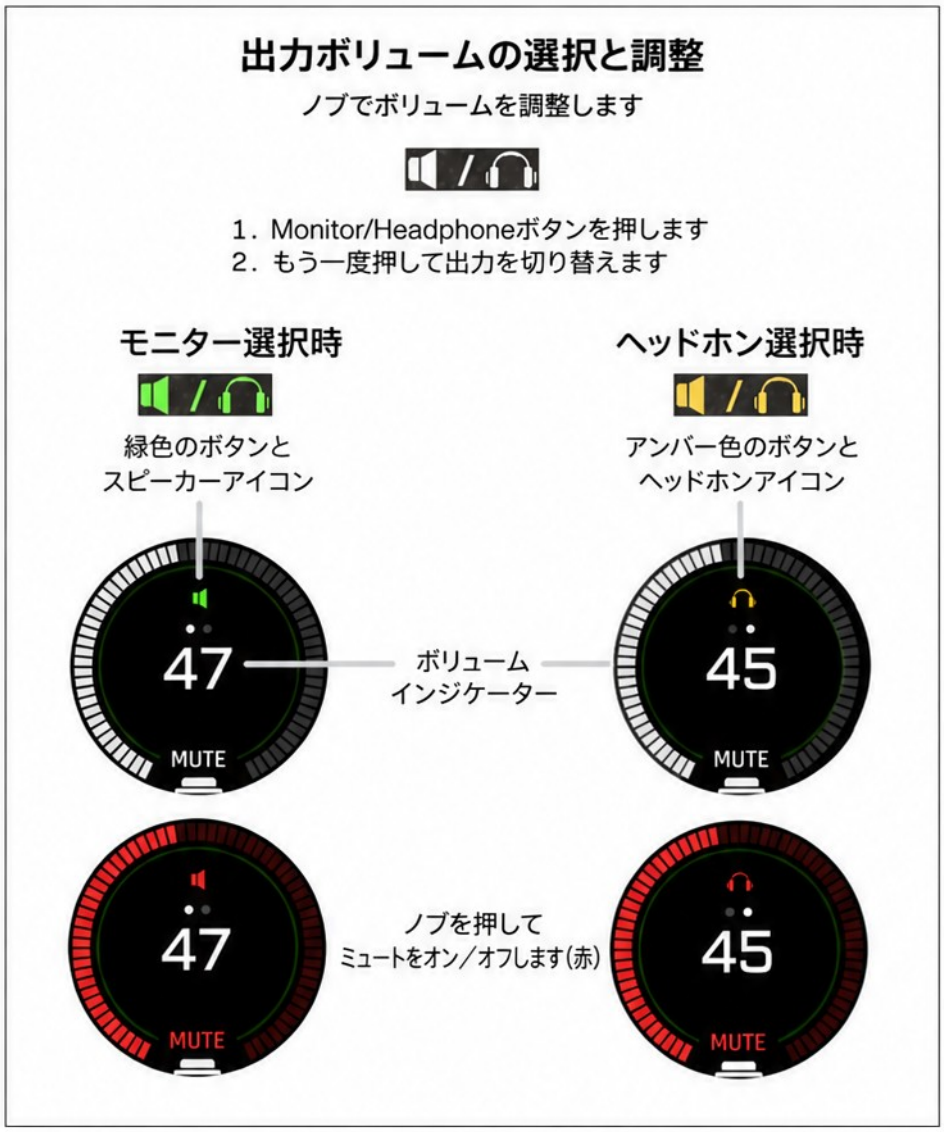
Voltのフロントパネルには、6つのプッシュボタンとプッシュ機能付きの大きなノブという2種類のコントロールがあります。

各ボタンには専用の機能があり、ラベルの色でアクティブな状態を示します。ノブは（その他の機能に加えて）、MonitorsまたはHeadphonesがアクティブな場合は出力音量とミュートを調整し、プリアンプ入力が選択されている場合はゲインとチャンネルリンクを調整します。ディスプレイには、現在の選択に応じて入出力情報が表示されます。

ヒント：コントロールは、Volt Gen 2、Volt Max、およびVolt 876ハードウェアのコンパニオンアプリであるUAD Consoleでも調整できます。

出力音量の選択と調整

Voltのモニターとヘッドフォンの出力音量は独立して調整できます。出力音量を調整するには、まずMonitor/Headphoneボタンで出力を選択し、次にノブで音量を調整します。

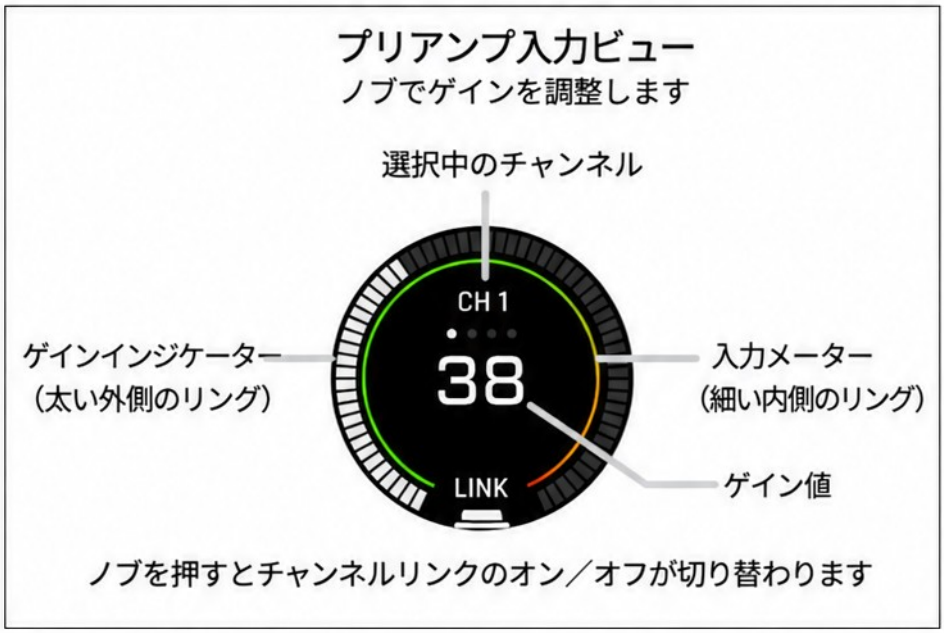


モニターモードの概要

- モニター出力とヘッドホン出力を切り替えるには、Monitor/Headphone ボタンを押してから、ノブを回して選択した出力のボリュームを調整します。
- 現在の選択は、ボタンラベルの色とディスプレイに表示されます。モニターが選択されている場合は、ボタンラベルとスピーカーアイコンが緑色になります。ヘッドホンが選択されている場合は、ボタンラベルとヘッドホンアイコンがアンバー色になります。
- 出力のミュートをオン／オフするには、ノブを押します。ミュート時は外側のボリュームリングが赤色になります。
- ヘッドホン／モニターモードがアクティブな場合、INPUT以外のすべてのボタンラベルは暗くなります。

入力の選択とプリアンプゲインの調整

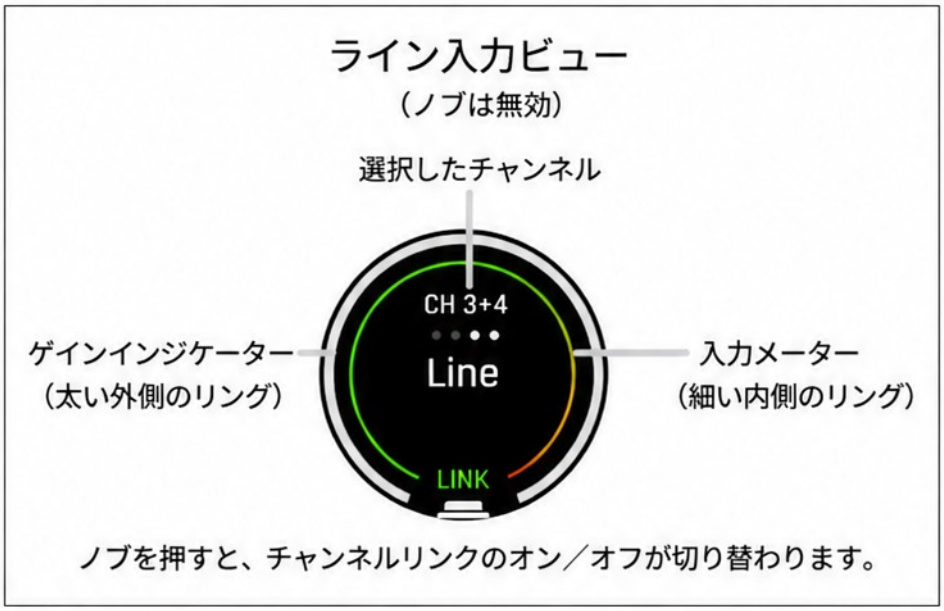
Voltには独立したコントロールを備えた複数の入力チャンネルがあります。チャンネルのプリアンプゲインを調整するには、まずINPUTボタンでチャンネルを選択し、ノブでゲインを調整します。入力が選択されている場合、各ボタンはその入力チャンネルをコントロールします。



プリアンプ入力ビュー

- ゲインを調整するには、ディスプレイにプリアンプのチャンネル番号が表示されるまでINPUTボタンを繰り返し押し、ノブを回します。
- 細い緑色の内側のリングは、チャンネルの入力信号レベルメーターです。入力信号がレッドゾーンでピークに達した場合は、プリアンプのゲインを下げるか、入力に接続されているデバイスの出力レベルを下げてください。
- プリアンプのゲインを自動的に設定するには、AUTOボタンを押します。

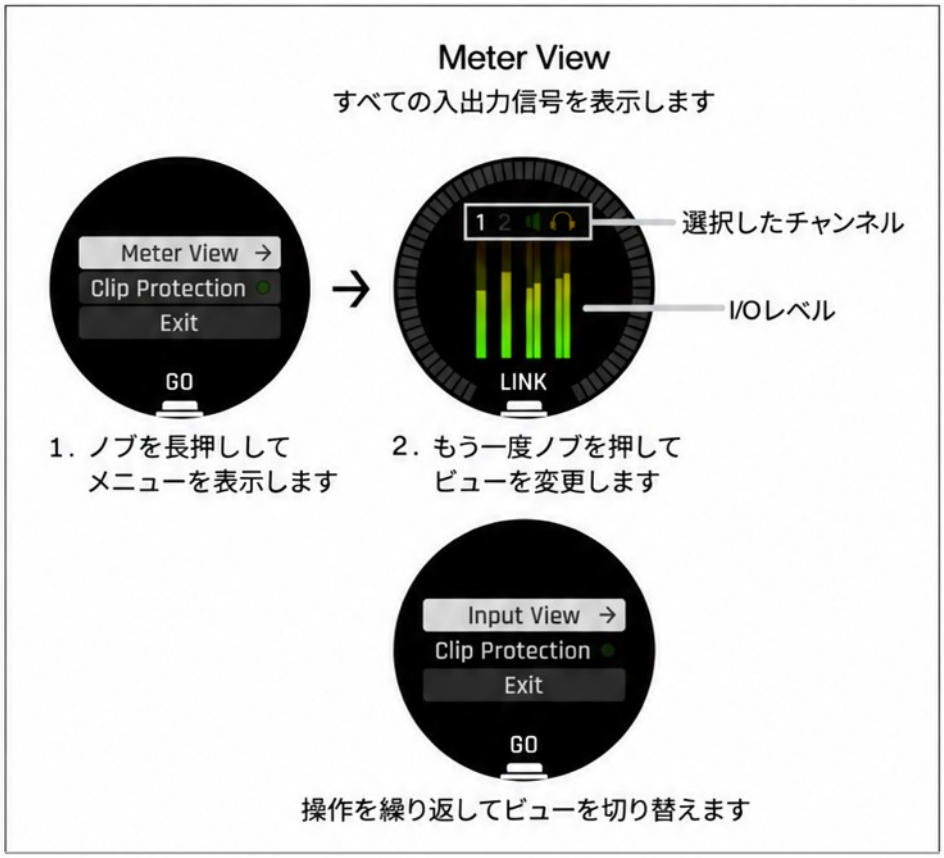
注意：ゲインを調整できるのはプリアンプチャンネルのみです。ライン入力の入力レベルを設定するには、入力に接続されているソースデバイスの出力レベルを調整してください。



メータービューの選択

メータービューでは、すべての入力と出力の信号レベルが同時に表示されます。メータービューを表示したままでも、INPUTボタンを押して入力を順番に切り替えたり、Monitor/Headphoneボタンを押して出力を切り替えたりすることで、チャンネルのコントロールや出力ボリュームの調整が可能です。

現在選択されている入力または出力チャンネルはメーターの上部に点灯し、そのチャンネルのゲインまたはボリュームは外側のレベルリングで示されます。



Meter View

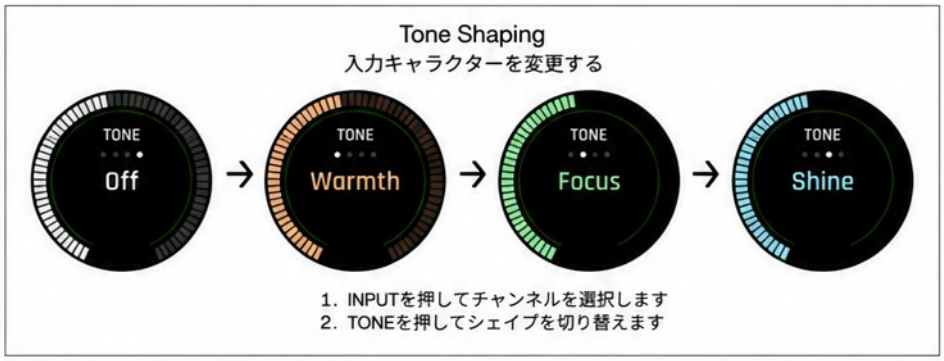
- Meter Viewに入るには、ノブを長押ししてメニューを表示し、Meter Viewがハイライトされている状態でノブを押します。
- Meter Viewを終了するには、ノブを長押ししてメニューを表示し、Input Viewがハイライトされている状態でノブを押します。

Toneの選択

Voltのすべてのアナログ入力には、クラシックなアナログマイクプリアンプのサウンドを実現する、3つのキャラクターモード（Warmth、Focus、Shine）を備えたTone Shaping機能が搭載されています。各モードには、アナログハードウェアに由来するEQカーブが含まれています。

利用可能なToneを切り替えるには、INPUTボタンを押して任意のチャンネルを選択し、TONEボタンを繰り返し押します。

ヒント：UAD ConsoleでToneを選択することもできます [link to UAD Console Tones article]。



Tone Shaping

- ディスプレイ外側のリングとTONEボタンのラベルの色は、現在の設定を反映して変化します。リングとボタンのラベルが白の場合、Tone Shapingはオフになっています。
- トーンリングとボタンの色は、入力チャンネルの選択に連動します。

以下の3種類のトーンを利用できます：

- **OFF（白）**：Tone Shapingを適用しません。
- **Warmth（アンバー）**：UA 610チューブプリアンプを彷彿とさせる、ソフトなトランジェントと滑らかさを持つヴィンテージチューブの輝きを加えます。
- **Focus（緑）**：クラシックなアメリカのソリッドステートコンソールを彷彿とさせる、フォーカスと明瞭さを持ったパンチのあるトランジェントで、ドラム、ギター、ベースに最適です。
- **Shine（青）**：定評あるイギリスのClass-Aコンソールを彷彿とさせる、シルキーな高域を持つ音楽的で豊かなサウンドです。

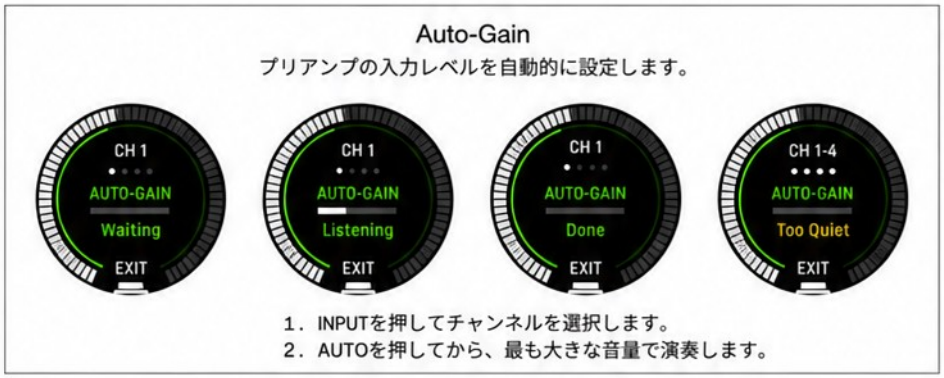
Auto-Gainの使用

Auto-Gain は、入力信号に対して最適なプリアンプゲインを自動的に設定し、時間を節約しながら、手動で調整することなく適切なレベルでの録音を可能にします。

単一のプリアンプチャンネル、またはリンクされたチャンネルのゲインを自動的に設定するには：

1. INPUTを押して、目的のチャンネルを選択します。
2. AUTOを押します。ディスプレイにWaitingと表示されます。
3. 最大の音量で10秒間演奏するか歌います。ディスプレイにListeningとプログレスバーが表示されます。

Auto-Gainが完了する（10秒後）とレベルが設定され、ディスプレイは前の画面に戻ります。



Auto-Gainのディスプレイ状態

Auto-Gainのヒント

- すべてのプリアンプで同時にAuto-Gainを使用するには、AUTOを長押しします。
- 入力信号のレベルが不十分な場合、ディスプレイに「Too Quiet」と表示されます。その場合は、より大きな声で歌うか、より大きな音量で演奏するか、または入力に接続されているデバイスの出力レベルを上げてください。
- UAD ConsoleでAuto-Gainを開始し、関連する設定を調整することもできます。
- Auto-Gainは、録音のためにプリアンプのレベルを自動的に調整します。聴覚へのダメージを防ぐため、先に進む前にモニターレベルが安全な音量に設定されていることを確認してください。

ダイレクトモニタリングの使用

ダイレクトモニタリングでは、DAW経由でモニタリングする代わりに、入力信号をモニター出力やヘッドフォン出力へ直接送ります。ダイレクトモニタリングを使用すると、レイテンシーを感じることなく、ライブ入力をリアルタイムで聴くことができます。ダイレクトモニタリングを使用しない場合、入力にはDAWのバッファリングによるレイテンシーが発生します。

ダイレクトモニタリングのオン／オフ

- 選択したチャンネルのダイレクトモニタリングをオン／オフするには、DIRECTボタンを押します。
- すべてのチャンネルのダイレクトモニタリングをオン／オフするには、DIRECTボタンを長押しします。

チャンネルのダイレクトモニタリングがオンの場合、DIRECTボタンのラベルは緑色になり、オフの場合は白色になります。また、機能を切り替えると、ディスプレイにもその状態が一時的に表示されます。



Directのオフとオン

ダイレクトモニタリングを使用する理由

ダイレクトモニタリング（ハードウェアモニタリングとも呼ばれます）を使用すると、DAWを完全にバイパスし、Tone Shapingが適用された入力信号をVoltハードウェアから直接、レイテンシーなしで聴くことができます。

DirectをオフにしてDAW経由で入力信号をモニタリング（ソフトウェアモニタリング）する場合、信号はDAWを通過してからVoltのモニター出力およびヘッドフォン出力に送られます。この信号はDAWのI/Oバッファーを使用するため、レイテンシー（バッファーサイズが大きくなるほど増加する遅延）が発生します。

DAW経由でモニタリングしたくないソースを録音する場合（たとえば、DAWでのプラグイン処理は適用せず、VoltのTone Shapingを含めてボーカルや楽器を録音する場合など）は、ダイレクトモニタリングを使用してください。

ダイレクトモニタリングに関する注意点

- Directには、入力のTone Shapingが含まれます（チャンネルで有効になっている場合）。
- Directがオンの場合、入力音が薄くなったり「フェイジー」に聴こえたりする原因となる信号の二重化を防ぐため、DAWのソフトウェアモニタリング機能を無効にしてください。
- Directがオフの場合、DAWでのバッファリングと信号処理の結果として、入力音が聴こえるまでにレイテンシー（わずかな遅延）が生じる場合があります。
- DAWに読み込まれたプラグインによる処理が適用された入力信号を聴きたい場合は、Directをオフにしてください。
- Directのオン／オフ状態に関係なく、入力信号は録音のために常にDAWへ送信されます。

UAD ConsoleでのDirectの使用

- UAD Consoleでは、Directがオンの時は入力のミュートが解除され、オフの時はミュートされます。
- UAD Consoleで1つ以上のチャンネルがソロになっている場合、他のチャンネルのダイレクトモニター信号は聞こえません。
- Directがオンの時、入力レベル、パンニング、およびCueセンドをUAD Consoleで制御できます。詳細については、UAD Consoleマニュアルを参照してください。

入力チャンネルのリンク

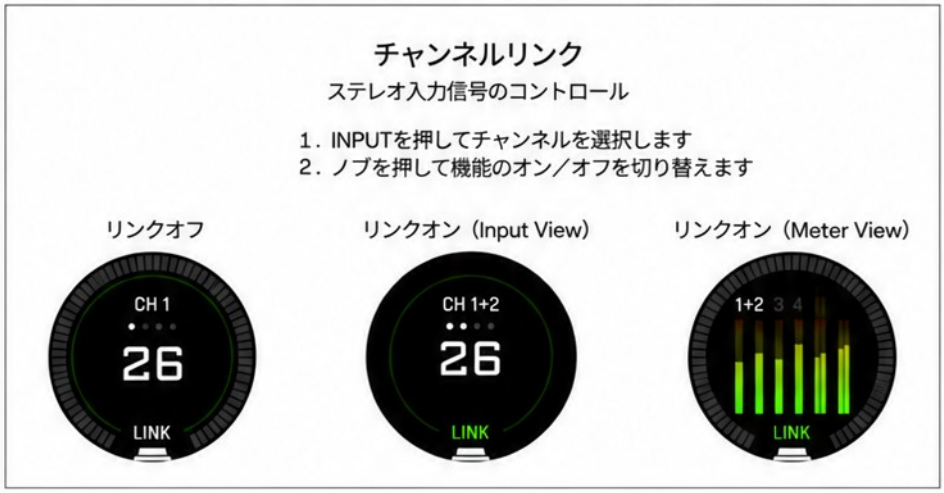
ステレオ操作のために、入力チャンネルをリンクできます。入力がリンクされると、チャンネル設定が両方の入力に適用され、チャンネルペアはモニターバスで左右にパンニングされます。リンクを解除するには、もう一度押します。

隣接するチャンネルのリンクとリンク解除

- ノブを1回押すか、INPUTボタンを長押しします。
- チャンネルのリンクを解除するには、もう一度ノブを押すか、INPUTボタンを再度長押しします。

リンクに関する注意事項

- 隣接するチャンネルペアのみリンクできます。
- 異なる入力タイプ（例：1/4”とXLR）のチャンネルをリンクすることはできません。互換性のないチャンネルをリンクしようとすると、INPUTラベルが赤く点滅し、ディスプレイにInput Mismatchと表示されます。
- リンクされたペアの片方のチャンネルの接続を外しても、本体またはUAD Consoleでチャンネルのリンクを解除するか、異なるタイプの入力を接続するまで、リンクは維持されます。

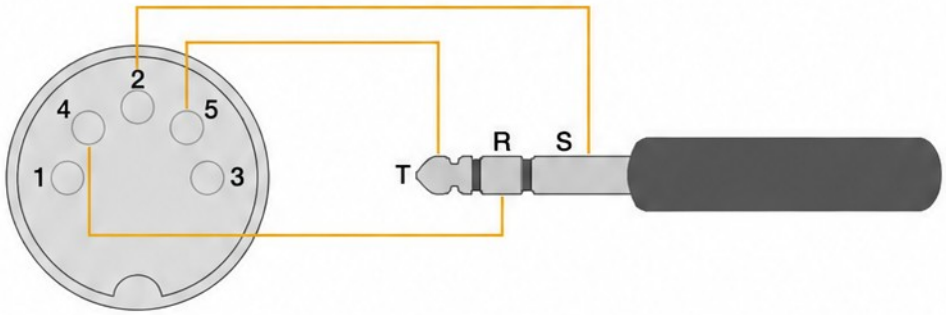


MIDIの使用

MIDI Type A 1/8”（3.5 mm）コネクターを使用して、MIDIデバイスを接続します。

MIDI接続図

MIDI Type Aは（MIDI Type Bとは異なり）特定の配線を使用します。この図は、Voltで必要となるMIDI Type Aの接続を示しています。



MIDI Type A 5ピンDIN - TRS配線図

MIDIデバイスの使用

macOSでは、MIDIデバイスはオペレーティングシステムに自動的に認識され、Voltはそのデバイス名で識別されます。Windowsでは、UA Connect経由でVoltドライバーをインストールする必要があります。

オプティカル入力の使用

外部機器のデジタルオーディオ出力ポートを、このTOSLINKオプティカル入力に接続します。

TOSLINKポートは、ADAT Lightpipeオプティカルインターフェイスまたは S/PDIFプロトコルを使用します。標準のTOSLINKオプティカルケーブルを使用して、最大8チャンネルのADATオーディオ、または2チャンネルのS/PDIFオーディオを入力できます。

アナログ入力とは異なり、デジタル入力にはチャンネルコントロールがありません。デジタル入力の信号レベルは、Voltに接続したデジタル機器側の出力レベルを調整することで設定します。デジタル入力の信号レベルは、UAD Consoleで確認できます。

注意：VoltはADATまたはS/PDIFフォーマットのデジタルオーディオをサポートしています。デジタルオーディオフォーマットは、UAD ConsoleのSettingsで選択できます。

高いサンプルレートで高解像度のADAT転送を維持するために、業界標準のS/MUXが使用されます。サポートされているサンプルレートは以下の通りです：

ADAT入力チャンネル

- 44.1/48 kHz：8チャンネル
- 88.2/96 kHz：4チャンネル
- 176.4/192 kHz：2チャンネル

S/PDIF入力チャンネル

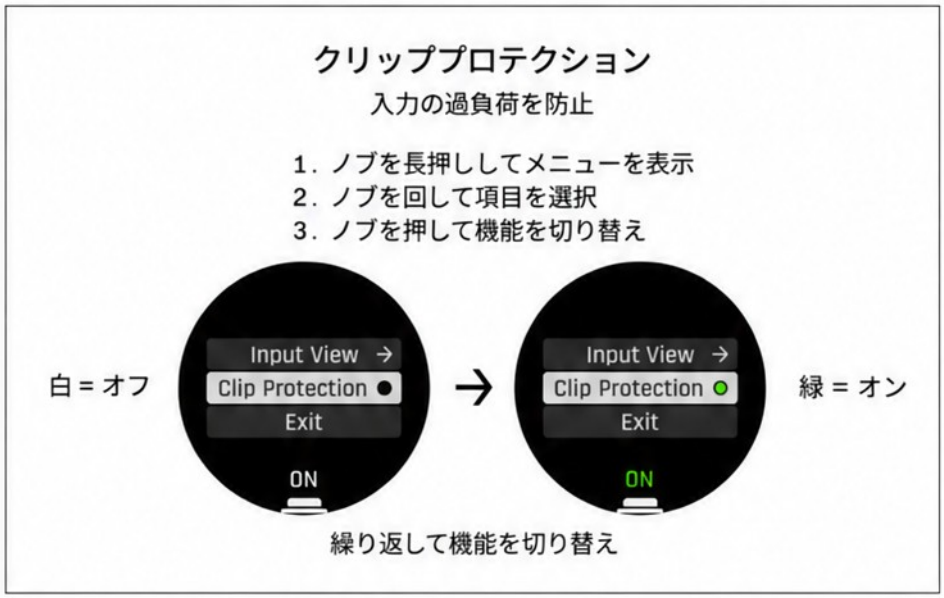
- 対応するすべてのサンプルレートで2チャンネル

クリッププロテクションによるオーディオクリッピングの防止

クリッププロテクションは、プリアンプに予期せぬ大音量の信号が入力された際に、録音時のクリッピングによる過負荷歪みを防ぎます。クリッププロテクションはデフォルトでオンになっていますが、Voltのメニュー、またはUAD Consoleの設定から無効にすることができます。

クリッププロテクションのオン／オフの切り替え

1. メニューが表示されるまでノブを長押しします。
2. ノブを回してClip Protectionメニュー項目をハイライトし、ノブを押して状態を切り替えます。
3. 有効になると、メニュー項目の横に緑色のドットが表示され、ONが緑色に点灯します。



Clip Protectionメニュー項目

クリッププロテクションの仕組み

Voltのクリッププロテクションは、入力ゲインステージングとソフトウェアリミッターを適用し、クリッピングを防ぎます。

Voltの接続について

最適な結果を得るために、以下のケーブルを使用してください：

- フロントパネルのインストゥルメント入力にギターまたはベースを接続するための1/4” (6.35 mm) TS（チップ・スリーブ）ケーブル

- マイクをリアパネルのコンボジャック入力に接続するためのXLRケーブル
- キーボードやその他のラインレベルのオーディオソースをリアパネルのコンボジャック入力に接続するための1/4” TRS（Tip-Ring-Sleeve）ケーブル
- ステレオモニタースピーカーやその他のオーディオ機器をリアパネルのモニター出力およびライン出力に接続するための1/4” TRSケーブル
- ステレオヘッドフォンをフロントパネルのヘッドフォンジャックに接続するための1/4” TRSヘッドフォンプラグ。お使いのヘッドフォンのプラグが1/8”（3.5 mm）の場合は、1/8” TRSメス - 1/4” TRSオス変換アダプターを使用してください。

バランス接続について

Voltのモニター／ライン出力およびリアパネルの1/4”コンボ入力ジャックは、バランス対応機器に接続するとバランス接続として機能します。最良の結果を得るには、TRS（バランス）オーディオケーブルを使用してください。バランス接続では3芯配線を使用するため、干渉や電気的ノイズが低減され、長いケーブル配線でも優れたオーディオ品質を提供します。TS（アンバランス）接続は、電気的干渉ノイズが問題にならない短い出力ケーブルでの使用に適しています。

Volt 4 ハードウェアの説明

本セクションでは、ハードウェアのすべてのコントロール、接続端子、インジケーターについて説明します。

Volt 4 Gen 2 フロントパネル



引き出し線付きのVolt 4 Gen 2フロントパネル画像

(1) インストゥルメント入力 1-2

ギター、ベース、その他のハイインピーダンス楽器をここに接続します。インストゥルメントジャックへの接続は、リアパネルのXLR/TRS 1-2コンボジャックへの接続よりも優先されます。

ヒント：楽器の接続には、標準の1/4” TSインストゥルメントケーブルを使用してください。

(2) スマートディスプレイ

円形のディスプレイには、選択された入力チャンネルまたは出力の情報が表示されます。

詳細については、Voltの使用方法を参照してください。

(3) TONEボタン

選択した入力チャンネルにアナログスタイルのトーンシェイピングを適用します。

- 利用可能なトーンを切り替えるには、INPUTボタンを押して任意のチャンネルを選択し、TONEボタンを繰り返し押します。
- スマートディスプレイの外側のリングとTONEボタンのラベルの色は、現在の設定を反映して変化します。リングとボタンのラベルが白色の場合、トーンシェイピングはオフになっています。
- トーンリングとボタンの色は、入力チャンネルの選択に連動します。
- トーンはUAD Consoleでも選択できます。

詳細については、トーンの選択を参照してください。

(4) 48Vボタン

選択したリアパネルのXLR入力に接続されたコンデンサーマイクに、+48Vファンタム電源を供給します。ファンタム電源の投入中はラベルが赤色で点滅し、アクティブな場合は赤色、非アクティブな場合は白色に点灯します。

選択したチャンネルに1/4"プラグが接続されている場合、ファンタム電源は無効になります（ラベルは消灯します）。

注意：マイクを接続または取り外す前に、ファンタム電源を無効にしてください。ファンタム電源は、一部のリボンマイクを損傷する可能性があります。

(5) INPUTボタン

ディスプレイに表示され、他のコントロールでの調整対象となるアクティブな入力チャンネルを選択します。繰り返し押すことで入力を切り替えます。ステレオ操作のためにチャンネルをリンクまたはリンク解除するには、長押しします。

詳細については、入力の選択とプリアンプゲインの調整を参照してください。

(6) AUTOボタン

選択したチャンネルでAuto-Gainのレベル検出を開始します。すべての入力で同時にAuto-Gainを設定するには、長押しします。詳細については、Auto-Gainの使用を参照してください。

ヒント：ギターやベースのモデリングプラグインに適切なレベルを設定するには、Hi-Zインストゥルメント入力に接続された楽器のゲインを最小値（0）に設定します。最適な結果を得るために、Hi-Zインストゥルメント入力に接続された楽器のレベル設定にAuto-Gainを使用しないでください。

(7) DIRECTボタン

選択したチャンネルのダイレクトモニタリングをオン／オフするには、DIRECTボタンを押します。ダイレクトモニタリングでは、Tone処理を含むモニター対象入力からのオーディオを直接出力へ送ります。また、UAD Consoleの入力チャンネルのミュートも解除されます。

詳細については、「ダイレクトモニタリングの使用」を参照してください。

(8) Monitor/Headphoneボタン

押すことで、ノブとディスプレイの出力先を選択します。このスイッチを繰り返し押すと、モニター出力とヘッドフォン出力が切り替わります。Monitorが選択されている場合はボタンのラベルが緑色に、Headphonesが選択されている場合はアンバーに点灯します。

詳細については、「出力音量の選択と調整」を参照してください。

(9) エンコーダーノブ

このノブは、現在選択されている機能に応じてさまざまな設定を調整するための、回転とプッシュ操作を兼ね備えたデュアル機能コントロールです。

ノブを回して以下の調整を行います：

- プリアンプチャンネルが選択されている場合の入力ゲイン
- Monitor出力が選択されている場合のモニター音量
- Headphone出力が選択されている場合のヘッドフォン音量

ライン入力が選択されている場合、ノブは無効になります。

ヒント：ノブをゆっくり回すと微調整が、速く回すと素早い調整が可能です。

ノブを押して以下の操作を行います：

- 入力が選択されている場合、隣接するチャンネルをリンクします
- Monitorが選択されている場合、モニター出力をミュートします
- Headphoneが選択されている場合、ヘッドフォン出力をミュートします

ノブを長押しして以下の操作を行います：

- Input/Meter Viewおよびクリッププロテクションメニューを表示します
- メニューが表示されている時にノブを回して機能を選択します
- ノブを押して機能のオン／オフを切り替えるか、メニューを終了します

(10) ヘッドフォン出力ジャック

1/4”（6.35 mm）TRSプラグを使用して、ステレオヘッドフォンをこの出力に接続します。ヘッドフォンのプラグが1/8”（3.5 mm）の場合は、1/8” TRSメス - 1/4” TRSオス変換アダプターを使用してください。

Volt 4 Gen 2 リアパネル



Volt 4 Gen 2背面画像（コールアウト付き）

(11) XLR/TRSコンボ入力1-2

2系統のXLR/1/4インチコンボジャックは、XLRまたは1/4インチTS/TRSプラグに対応しています。これらの入力は、VoltプリアンプとTone Shapingを利用します。48Vファンタム電源は、XLRジャックにのみ供給されます。

- XLRケーブルでマイクを接続します
- 1/4インチTRSまたはTSケーブルでキーボードやその他のオーディオ機器を接続します
- INPUTボタンでチャンネルを選択し、ノブを回してコンボ入力のプリアンプゲインを調整します

注意：フロントパネルのインストゥルメントジャックにケーブルが接続されている場合、そのチャンネルのファンタム電源は無効になります。

(12) ライン入力3-4

この2系統の1/4インチTRSバランス入力は、シンセサイザー、ドラムマシン、その他のラインレベルソースの接続に使用します。ライン入力のゲインは固定されているため、ソース側の出力を調整してレベルを設定してください。

(13) モニターL/R出力

モニター出力にはステレオスピーカーシステムを接続します。1/4インチTSまたはTRSケーブルを使用し、左スピーカーをMON OUT 1/Lに、右スピーカーをMON OUT 2/Rに接続します。

注意：モニター出力から電源は供給されません。アクティブ（パワード）モニター、または別途アンプとパッシブスピーカーが必要です。

モニター出力の音量を調整するには、まずMonitor/Headphoneボタンで出力を選択し、ノブを回して調整します。

(14) ライン出力3-4

これらのアサイナブル出力は、TSまたはTRS 1/4”ケーブルを使用して、他のオーディオ機器のラインレベル入力に接続します。ライン出力は通常、キュー出力用のヘッドフォンアンプや、他のオーディオ機器を接続するために使用されます。

(15) MIDI I/O

標準の1/8” (3.5 mm) TRS MIDI Type Aケーブルを使用して、MIDIデバイスをVoltに接続できます。デバイスのMIDI OUTをVoltのMIDI INに、デバイスのMIDI INをVoltのMIDI OUTに接続します。

詳細については「Using MIDI」を参照してください。

(16) HUBポート

このUSB 2.0拡張ポートに他のUSBデバイスを接続します。たとえば、MIDIコントローラーやiLok USBをここに接続できます。また、ADAT拡張のためにVolt 876をこのポートに接続することもできます。このポートは、ホストコンピューターやUSB電源への接続用ではありません。

USB HUBポートは5VDC、最大0.5Aを供給します。出力電力が不足する場合は、外部電源を接続する必要がある場合があります。

(17) HOSTポート

付属のUSB-Cケーブルまたはその他のデータケーブルを使用して、HOSTポートをコンピューターのUSB 2.0（またはそれ以降）ポートに接続します。コンピューターのポートはUSB-CまたはUSB-Aのいずれでもよく、USB 2.0以降の任意のデータケーブルを使用できます。

iOSおよびiPadデバイスの場合、USB-Cケーブル（USB-Cポート搭載デバイス）またはApple Lightning - USBカメラアダプタ（Lightningポート搭載デバイス）を使用してVoltを接続します。

このポートに接続されたコンピューターからの電力が、Voltにバスパワーとして供給されます。

(18) 5VDCポート

VoltがUSB HOSTポートから動作に十分なバスパワーを受け取れない場合は、このポートを適切な5VDC USB電源に接続します。

注意：Voltが認識されるためには、VoltのHOSTポートがコンピューターに接続されている必要があります。

(19) Optical入力

他の機器のデジタルオーディオ出力ポートを、このTOSLINKオプティカル入力に接続します。

TOSLINKポートは、ADAT Lightpipeオプティカルインターフェイス、またはS/PDIFプロトコルに対応しています。標準のTOSLINKオプティカルケーブルを使用して、最大8チャンネルのADATオーディオ、または2チャンネルのS/PDIFオーディオを入力できます。

詳細については、「オプティカル入力の使用」を参照してください。

(20) 電源スイッチ

このロッカースイッチでVoltの電源を入れます。

(21) Kensingtonセキュリティポート

Kensington互換のセキュリティデバイスを使用して、Volt本体を固定します。

Voltを工場出荷時の状態にリセットする

Voltを工場出荷時の状態にリセットするには、以下の手順に従ってください。

1. Volt本体の電源をオフにします。
2. TONEボタンと48Vボタンの両方を押し続けながら、本体の電源をオンにします。
3. すべてのボタンの上にあるバックライトのテキストが4回点滅するまで待ってから、ボタンを離します。

Volt 4 Gen 2 仕様

注意：すべての仕様は予告なく変更される場合があります。

システム

入出力構成

- マイク／ラインプリアンプ入力：2系統のコンボXLR/TRS
- インストゥルメント入力：2系統の¼” TS
- ライン入力：2系統の¼” TRS
- ライン出力：2系統
- モニター出力：2系統
- ヘッドフォン出力：1系統のステレオ
- USB（Type-Cコネクター）：
    - 1つのUSB 2.0ホストポート（バスパワー対応）
    - 1つのUSB 5VDC電源ポート
    - 1つのUSB 5VDC電源ポート
- MIDI：In、Out（2系統の3.5 mm Type A）

A/D – D/A変換

- 対応サンプルレート（kHz）：44.1, 48, 88.2, 96, 176.4, 192
- サンプルあたりのビット深度：32

- 同時A/D変換：4チャンネル
- 同時D/A変換：6チャンネル（4メイン、1ステレオヘッドホン）

アナログI/O

マイク＆ライン入力1-2（ACカップリング）

- 使用可能なゲイン：60 dB
- Tone Shaping（全アナログ入力）：チャンネルごとに選択可能（Warmth、Focus、Shine）

マイク入力

- 周波数特性：20 Hz ～ 20 kHz、±0.08 dB
- ダイナミックレンジ（Aウェイト）：119 dB
- 全高調波歪率＋ノイズ（1 kHz @ -1 dBFS）：-110 dB（0.0003 %）
- 最大入力レベル：14 dBu
- 入力インピーダンス：2 kOhms
- ファンタム電源：+48V（チャンネルごとに切り替え可能）
- コネクタータイプ：XLR（メス）、2番ホット

インストゥルメント入力

- 周波数特性：20 Hz ～ 20 kHz、±0.02 dB
- ダイナミックレンジ（Aウェイト）：116 dB
- 全高調波歪率＋ノイズ（1 kHz @ -1 dBFS）：-108 dB（0.0004 %）
- 最大入力レベル：13 dBu
- 入力インピーダンス：1 MOhms
- コネクタータイプ：¼” TSアンバランス

ライン入力

- 周波数特性：20 Hz ～ 20 kHz、±0.05 dB
- ダイナミックレンジ（Aウェイト）：119 dB
- 全高調波歪率＋ノイズ（1 kHz @ -1 dBFS）：-108 dB（0.0004 %）
- 最大入力レベル：22 dBu
- 入力インピーダンス：10 kOhms
- コネクタータイプ：¼” TRSバランスまたはTSアンバランス

モニター＆ライン出力（DCカップリング）

- 周波数特性：20 Hz ～ 20 kHz、±0.05 dB
- ダイナミックレンジ（Aウェイト）：126 dB
- 全高調波歪率＋ノイズ（1 kHz @ -1 dBFS）：-112 dB（0.0003 %）
- 最大出力レベル：20.2 dBu
- 出力インピーダンス：200 Ohms
- コネクタータイプ：¼” TRSバランス

ステレオヘッドホン出力 (DCカップリング)

- 周波数特性：20 Hz ～ 20 kHz、±0.08 dB
- ダイナミックレンジ（300 Ohms、Aウェイト）：116 dB
- THD + ノイズ（1 kHz @ -1 dBFS、300 Ohms）：-103 dB（0.0007 %）
- 最大出力電力（32 Ohms）：チャンネルあたり45 mW
- 最大出力電力（300 Ohms）：チャンネルあたり24 mW
- コネクタータイプ：¼” TRSステレオ

デジタル入力

S/PDIF

- コネクタータイプ：オプティカルTOSLINK JIS F05（ADATと共有）
- フォーマット：IEC 958
- 対応サンプルレート（kHz）：44.1、48、88.2、96、176.4、192

ADAT

- コネクタータイプ：オプティカルTOSLINK JIS F05（S/PDIFと共有）
- フォーマット：ADAT Digital Lightpipe（S/MUX対応）
- 対応サンプルレート（kHz）：44.1、48、88.2、96、176.4、192
- チャンネルアサイン @ 44.1 kHz、48 kHz：チャンネル1 ～ 8
- チャンネルアサイン @ 88.2 kHz、96 kHz：チャンネル1 ～ 4
- チャンネルアサイン @ 176.4 kHz、192 kHz：チャンネル1 ～ 2

同期ソース

- 内部、ADAT、S/PDIF

電気的仕様

- DC入力コネクタータイプ：USB-C
- DC要件：5VDC（Hostポート経由のバスパワー駆動対応）
- 消費電力（@5VDC）：標準4.2 W、最大5.8 W

環境仕様

- 周囲温度範囲：32° ～ 104° F（0° ～ 40° C）

物理仕様

寸法

- シャーシ（ノブを含む）：幅 x 奥行き x 高さ 7.4 x 4.9 x 2 in（18,7 x 12,5 x 5,1 cm）

- 梱包箱：幅 x 奥行き x 高さ 9.1 x 7.3 x 3.1 in (23,0 x 18,5 x 8,0 cm)

重量

- 発送重量（梱包箱および付属品を含む）：2.1 lbs (1.0 kg)
- 本体重量：1.4 lbs (0.6 kg)

パッケージ内容

- Volt 4 Gen 2 USBオーディオインターフェイス
- 1m USBケーブル（Type-C - Type-C）
- 重要な安全上の指示
- エンドユーザーライセンス契約

注意事項



重要な安全上の指示

1. これらの安全上の指示および製品の取扱説明書をお読みください。
2. これらの安全上の指示および製品の取扱説明書を保管してください。製品を第三者に譲渡する場合は、必ずすべての取扱説明書を添えてください。
3. すべての警告に注意してください。
4. すべての指示に従ってください。
5. この機器を水の近くで使用しないでください。
6. 製品の清掃は、電源から切り離した状態でのみ行ってください。乾いた布でのみ清掃してください。
7. 通気孔を塞がないでください。製造元の指示に従って設置してください。
8. ラジエーター、ヒーター、ストーブ、または熱を発生するその他の機器（アンプを含む）などの熱源の近くに設置しないでください。
9. 製品は、電源ユニットに記載されているタイプの電源でのみ操作してください。
10. 電源コード、特にプラグ、コンセント、および機器からの接続部付近が踏まれたり挟まれたりしないように保護してください。
11. 製造元が指定したアタッチメント／付属品のみを使用してください。
12. 雷雨の際、または長期間使用しない場合は、この機器のプラグを抜いてください。
13. すべての修理は有資格のサービス担当者に依頼してください。電源コードやプラグが破損した場合、機器に液体がこぼれたり異物が入り込んだ場合、機器が雨や湿気にさらされた場合、正常に動作しない場合、または落下した場合など、機器が何らかの形で損傷した場合には修理が必要です。
14. **警告：**火災や感電の危険を減らすため、この機器を雨や湿気にさらさないでください。花瓶など液体の入った物を機器の上に置かないでください。
15. この機器をAC電源から完全に切断するには、電源コードのプラグをACコンセントから抜いてください。

16. 電源コードの電源プラグには、常に容易に手が届くようにしておいてください。
17. 製品の筐体を開けようとしないでください。お客様ご自身で開封された製品は、保証の対象外となります。
18. 製品の電源を入れる前に、室温に馴染ませてください。
19. **注意**：高レベルの信号は、聴覚やスピーカーに損傷を与える可能性があります。製品の電源を入れる前に、接続されているオーディオ機器の音量を下げてください。これは音響フィードバックの防止にも役立ちます。
20. **使用目的**：本製品は屋内での使用を目的として設計されています。本製品は商業目的で使用することができます。該当する取扱説明書に記載されていない用途での使用は、不適切な使用と見なされます。Universal Audioは、本製品およびその付属品／アクセサリーの不適切な使用または誤用によって生じた損害について一切の責任を負いません。本製品を使用する前に、各国の規制を遵守してください。

メーカー宣言

保証

本製品は限定保証の対象です。本保証の最新の条件については、uaudio.com/eulaをご覧ください。



メンテナンス

- **注意**：感電の危険を減らすため、本体を開けないでください。
- 本製品には、ヒューズやお客様が交換できる部品は含まれていません。本体内部は工場出荷時に調整されています。ユーザーご自身での内部調整はできません。

修理サービス

ハードウェアに問題が発生した場合は、まずすべてのシステムセットアップ、接続、および取扱説明書を確認してください。それでも問題が解決しない場合は、当社のテクニカルサポートチームにお問い合わせください。

修理サービスに関する詳細、またはUAカスタマーケアへのお問い合わせについては、help.uaudio.comをご覧ください。

廃棄に関する注意事項

以下の要件に準拠しています：

WEEE指令（2012/19/EU）



製品、バッテリー／充電式バッテリー（該当する場合）、および／またはパッケージに記載されている、キャスター付きゴミ箱に×印が付いた記号は、これらの製品を通常の家庭ゴミと一緒に廃棄してはならず、製品寿命を迎えた際に分別して廃棄する必要があることを示しています。パッケージの廃棄については、お客様の国で適用されるゴミの分別に関する法的規制を遵守してください。

これらの製品のリサイクルに関する詳細については、お住まいの自治体または指定の回収窓口にお問い合わせください。廃電気電子機器、バッテリー／充電式バッテリー（該当する場合）、およびパッケージの分別回収は、再利用やリサイクルを促進し、これらの製品に含まれる可能性のある有害物質などによって引き起こされる悪影響を防ぐために実施されています。これにより、環境保護および公衆衛生に大きく貢献することができます。

適合宣言

FCC：本デバイスはFCC規則パート15に準拠しています。その動作は以下の2つの条件に従うものとします。(1) 本デバイスは有害な干渉を引き起こさないこと、および (2) 本デバイスは、望ましくない動作を引き起こす可能性のある干渉を含め、受信したあらゆる干渉を許容しなければならないこと。

CANADA：カナダのICES-003クラスBに準拠しています。/ Conforme au reglement Canadien NMB-003 Classe B.

CE：本デバイスはテスト済みであり、欧州共同体の電磁両立性指令2014/30/EUの制限に準拠していることが確認されています。

エンドユーザー・ライセンス契約

ソフトウェアに対するお客様の権利は、付属のエンドユーザー・ライセンス契約によって規定されます。契約内容は www.uaudio.com/eula にてご確認いただけます。

著作権および商標

© 2026 ユニバーサル・オーディオ / Universal Audio, Inc. All rights reserved worldwide.「ユニバーサル・オーディオ / Universal Audio」という名称、Universal Audio / UAの「ダイヤモンド」ロゴ、および「Universal Audio / UA Volt」は、ユニバーサル・オーディオ / Universal Audio, Inc.の商標または登録商標です。ここに記載されているその他のすべての製品名および商標は、それぞれの所有者に帰属します。

ASIOは、Steinberg Media Technologies GmbHの商標およびソフトウェアです。

免責事項

本マニュアルに含まれる情報は、予告なく変更される場合があります。ユニバーサル・オーディオ / Universal Audio, Inc. は、本マニュアルに関し、商品性および特定目的への適合性の黙示的保証を含む（ただしこれらに限定されない）いかなる種類の保証も行いません。また、ユニバーサル・オーディオ / Universal Audio, Inc. は、本マニュアルに含まれる誤り、または本資料の提供、性能、使用に起因する直接的、間接的、特別、付随的、または結果的な損害について、一切の責任を負わないものとします。